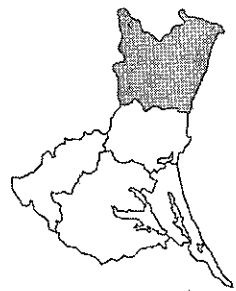


県北



■日立支社
 日立市
 高萩市
 北茨城市
 ☎0294(22)4466
 ファクス(22)4480

■常陸太田支局
 常陸太田市
 ☎0294(72)0201
 ファクス(72)0440

赤水資料、国重文に指定

寄稿

佐川 春久

れている。

また、日本地図学会機関誌「地図」58巻2号(2020年)の表紙を「赤水図」が飾り、付録の添付地図(「赤水図」原寸大レプリ

た。その模様をビデオ撮影し、12月27日までウェブ開催されるG空間EXPO2020の「講演・シンポジウム」の中で全国に紹介している。同EXPO2020の「地理空間情報フォーラム」にも長久保赤水顕彰会の赤水先生の動画を公開

では、全国の学校の生徒なども参加可能な「赤水図」セッションの開催を企画検討いただくことになった。同学会には、河川や海路、空路など、さまざまな地図研究者がいる。今後は、さまざまな分野の研究者に学術的な解説をお願いしていく予

に、より高い精度の地図完成につながっている。赤水の業績を歴史地理学上にしっかりと刻んでいただきた。伊能忠敬も「赤水図」をもって測量に歩いたことが「測量日記」に書かれている。吉田松陰も「これがなくては不便」と言っていた「赤水図」。

「日本が世界に誇れる偉大な江戸時代の先人、長久保赤水」の資料群が国民の財産となった今、多くの国民の皆さま方に長久保赤水の業績を知ってほしい。先日、徳川宗家、第18代将軍に当たる徳川恒孝さんが、長久保赤水顕彰会の会員になってくれた。これにより11月中旬には会員が667人と急増した。「教科書に載せて広げよう世界に」、「『ひよっこ』の次は大河ドラマ『長久保赤水伝』を

教科書掲載を目指す

9月30日に、長久保赤水資料693点が正式に国の重要文化財に指定された。上野の東京国立博物館での展示会は、誠に残念ながら実現することができなかった。しかし高萩市などがすでに設置された重要文化財指定記念の「赤水図」マ

力の全国会員への配布や私の「添付地図解説」までも掲載していただいた。さらに先日、同学会のト

部勝彦常任委員長と太田弘企画委員長、歴史地理学会の小野寺淳会長の3人に、長久保赤水資料の学術的立場からの解説をお願いし

していく。動画内容は、「りゅうのひかり・国の重要文化財特別展・あしたの風とひとつになつて」の3部構成。いずれの動画もプロデュースを同顕彰会理事の廣原朝代さんをお願いした。

また、来年の1月30、31日の同学会の学術的な大会は、先駆者の業績の上

成した地図こそが「赤水図」(長久保赤水顕彰会会長)

すに設置された重要文化財指定記念の「赤水図」マ

部の小野寺淳会長の3人に、長久保赤水資料の学術的立場からの解説をお願いし

していく。動画内容は、「りゅうのひかり・国の重要文化財特別展・あしたの風とひとつになつて」の3部構成。いずれの動画もプロデュースを同顕彰会理事の廣原朝代さんをお願いした。

また、来年の1月30、31日の同学会の学術的な大会は、先駆者の業績の上

成した地図こそが「赤水図」(長久保赤水顕彰会会長)

成した地図こそが「赤水図」(長久保赤水顕彰会会長)